

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

田中 寛

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
11/6	広報活動	72,055		72,055
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				72,055円

領収書等添付用紙	議員名	田 中 寛
調査研究費・研修費・ <u>広報費</u> ・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		
項目ごとに領収書添付 ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。 ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。 ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。 ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。		

領 収 証

田 中 寛

様 No. _____

★

¥ 72,055-

但

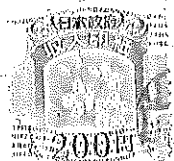
登録番号 T7810452782781

2023 年 11 月 6 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)



看板・塗装 大和工芸

〒518-0836 三重県伊賀市緑ヶ丘本町4-1-1
 TEL0595-23-0226・FAX0595-23-1408

令和 ネコのあくび

創刊号 発行日 2023年10月



旧上野市庁舎 活用の経緯

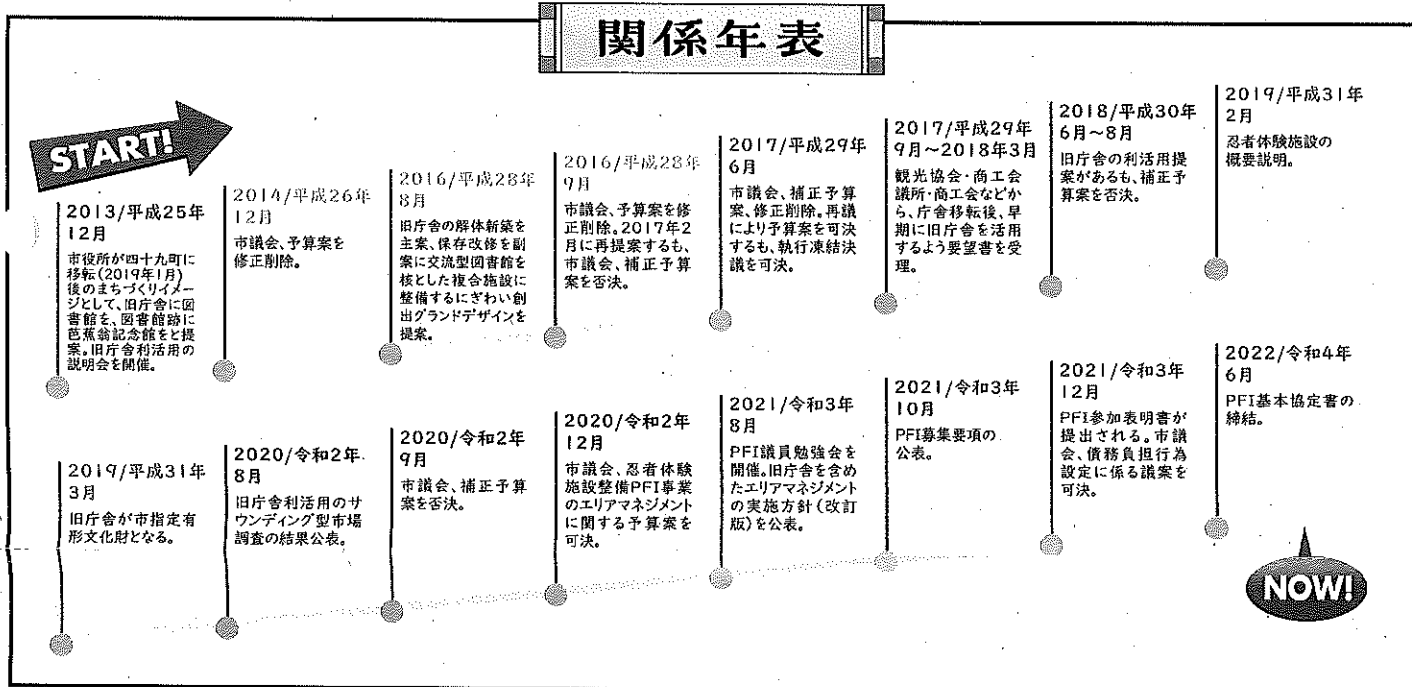
否決が繰り返され、3億円で
できた事業に25億円の支出

旧上野市庁舎の利活用が、忍
者体験施設整備とともに官民連携の
PFI事業で進んでいます。現在
は、実施設計の段階ですが、ここ
に至る経緯は下の年表のとおりで
す。

年表にあるように、当初、国の合
併特例債を活用して、市単独事業
として新図書館整備の予定でした
が、予算案上程のたびに市議会は
否決。反対した議員からその具体
的な対案もなく、特例債の期限も
過ぎてしまいました。官民連携の
PFI事業として、市の実質負担
額が大幅に増えたかたちで20年間
の債務負担行為を設定して、よう
やく動き出したというのが現在の
状況といえます。

(文責・増田たけし)

関係年表



二つの温泉の民間売却 合併20年。費やされた 維持費が21億円

伊賀の国大山田温泉と
鳥ヶ原ふれあいの里は、本
年4月からプロポーザル
入札により、民間事業者に
よる経営となりました。

伊賀市として合併して
以降、平成17年から令和4
年までの17年間で、皆さん
の税金が使用された金額
は、両温泉施設あわせて21
億円余り。内訳は、伊賀の
国大山田温泉が5億2千
万円余り、鳥ヶ原ふれあ
いの里が15億9千万円余り
となっています。

市有温泉施設のプロポー
ザル入札の結果は、
〔物件① 大山田温泉〕
最優秀者
株式会社Y's corporation
〔物件② 鳥ヶ原温泉〕
最優秀者
なし

鳥ヶ原温泉リゾート
次点者 一般社団法人
しまがはら郷づくり公社
となりました。大山田温泉
に関しては、次点者の記載が
ないのは、応募者が次点者
の資格を得る点数に満た
なかったためです。

民間活力で今後、皆さん
の税金をつかうことなく、
両温泉施設が繁栄して欲
しいですね。

道の駅あやま等に費や した維持費とこれから

旧阿山町時代から、阿山
ふるさとの森公園・道の駅
あやま(阿山交流促進施
設)が運営されています。
さんま、ボール(あやま
文化センター)も、旧上野

市などとの伊賀市合併の
際に、駆け込みで作られま
した。

そして、これら3施設の
業務委託料及び指定管理
料として、18年間でおよそ
6億円もの税金が投入さ
れてきました。

しかし、ふるさとの森公
園は、以前あった遊具等が
撤去されたり、使用禁止と
なっていて、利用者から不
満の声が上がっています。

文化歴史が薫り出す

昭和34年(1959)建設
の芭蕉翁記念館の建て替
えを含む美術博物館建設
準備室が、今年度、市企画
振興部に設置されました。
現在の芭蕉翁記念館は
老朽化により、貴重な芭蕉
さんの自筆作品も収めら
れる収蔵庫が、時に雨漏り
の被害を受けており、旧上野
市時代から継続して新設
の議論がなされてきまし
た。

概ね10年間の基本方針な
どをまとめた令和元年(2
019)策定の『市文化振
興ビジョン』でも、「博物
館、美術館などをはじめと
した施設の確保が欠かせ
ません」と謳われています。

「令和ネコのあくび」 発行にあたって

世の中はデジタルで、ア
ナログの様に一方的に情報
を押し付けられない、と言っ
てもよくわかりません。
テレビでさえ、地デジと
なって双方向になっていま
すが、インターネットに四つ
の色分けされたボタンを押す
程度。反面、防犯情報などは
かなり細かなエリアの情報
でありがたい。

未だにテレビのCMの最
後に、「詳しくは検索」とよ
く見ます。要は、欲しいなら
一手間でも掛けて調べなさ
いとも言うているのかと
も思います。
嘘でも、百遍言えれば本当
になる。こんなことを聞い
たことがあります。市政情
報は決して嘘はありません
が、その結果を導くのに経
過(プロセス)も重要である
と私たちは考えます。
市広報や市議会だよりに
載らない情報を少しでも、
経過から明らかにされた結果
としてお知らせできれば、
議員としての本懐の一部は
遂げられると考えて。
(文責・山中さとし)

【次号特集予告】
小・中学校の校区再編成

「IGA CITY HALL」から、
昨年3月より「IGA CITY
GOVERNMENT」に変更
されました。玄関看板を
変更した市長の見解は？
(桃井)



地方自治というのは、市民の
市民による市民のための行政であり、
よりよい市民生活が送れるようにするとい
うことであります。行政は、住民自治の組織の
根幹になるところで、その構成員はすべての
市民です。ですから、国の中央政府、県政
府、市政府というのが本来のあり方
であります。(市長)

田中寛

全国市
議会議長会か
ら、在職10年
表彰を受けま
した。三期にわたるご
指導に感謝を申し
上げます。

県と市を通算して
9回の選挙に7回の
当選。長きに亘る議
会を振り返り、時代
背景の激変と議
会の役割をいつ
も熟考させら
れていま
す。

その昔、このように言っても決して過言ではないと思いますが、伊賀の政治の枠組みは、齋藤先生、川崎先生、中井先生の国会議員を頂点として、県議や市議の争奪戦を繰り広げ、あたかも戦国時代のように、勢力図が選挙のたびに書き換えられていました。

当時は、県議会や市議会は、知事や市長の追認機関と言っても過言ではないという組織であって、地方自治法96条の第1番目にある条例の改廃など、まったく意図されていませんでした。その象徴として、県や市に議員提出

条例が皆
 無であった
 ことが証明し
 ているといえま
 す。

人口減少を背景
 として「今だけ」
 「自分だけ」「二部
 地域や団体、組織だ
 け」の利益のためだ
 けに、行政も議会も
 存在しません。

今を生きる私たち
 が、これからの人た
 ちに投資・支援して
 いくことが肝要と考
 えています。

「すべては、次世代
 のために」を政治の
 ものさしに、私たち
 の生活に一番身近な
 市の政治に、日々、取
 り組んでいます。

桃井弘子

7年目、二期
 實して、子育て、教育、医療
 福祉を軸として
 取り組んでいます。
 二人の子どもは、
 中学3年生と保育所
 年長。私は、子育て
 真っ最中というよ
 り、子どもを通じて
 いろいろな勉強さ
 せていただいてい
 ます。

そんなこ
 んなの気

づきから政治に目を
向ける」と矛盾二覺
問「理不尽が見えて
きます。今後、課題
にしっかりと向き合
い、さまざまな課題の解
決につなげていきま
す。」

お母ちゃん目線
で、日々の生活のな
かの課題や利便性か
ら例えば、ゴミ袋を
手提げ型に変更しま
した。

新生児期の聴力検
査は、非常に大切で
す。しかし、自己負担
額が6千円のため、
検査の受診が100%
ではなく、半額の3千
円補助を実現しまし
た。

また災害、また、
大きなイベント時
に、授乳する場所
に苦勞を

さらには「家族が
 お亡くなりになられ
 た時、市役所の手続き
 が多岐にわたります
 ご遺族の負担を減ら
 すために窓口を一本
 化し、おくやみ窓口
 を設置したり、実家が
 合点で、斎苑の不景
 気がよく分かります
 。老朽化した斎苑の早
 期建て直しを実現し
 ました。

市民生活、日々の
 生活に密着した課題
 が最も重要であり、
 小さいことからコツ
 コツと取り組むこ
 とにより、大きな
 施策につな
 げていきま
 す。

歴史豊かな伊賀市に賑わいを取り戻したいと、市議会場で議論を重ねています。

大学院を修了して、大好きな伊賀の街づくりや人材育成に関わりたいと、県立高岡校で地理・歴史の教鞭を執り、芭蕉翁記念館で学芸員として社会教育の現場に立っていました。

少子高齢化と人口減少が進み、10万人を超えていた伊賀市の人口も、今や8万人強。20年後には、56万人と推計されます。つまり、持続可能な街づくりに取り組む必要があります。

源が減ることにつながります。予算の削減が必要ですが、どの施策を推進してどの施策を見直すのが、しっかりと見極めたいと考えます。

中心市街地では、にぎわい忍者回廊事業を核に、2025年の大阪・関西万博に焦点を定め、観光立市として観光施策に取り組んでいます。

例えば市街地では、コミニティブランドは水をきれいにするうえで有効でしょうし、土地区画整理事業を実施するなど思いついた施策が、住民との協働で実現しますと街の再構築につながります。

増田雄

増田雄

進めよう
す。

自己紹介 編集員

の私の政策提
れまです
言で、美術博物館
構想の調査費を獲
得し、伊賀市におい
ても準備室が置か
れ、美術博物館の設置
が実現しようとして
います。

これからも、地域の
伝統・文化を活かし
た心豊かな街づく
りの視点で諸施策
を進めてい
きます。



介紹



NEKONAKURI2022



LINE

はませたつお
22-8794
kadode4976@gmail.com
増田たけし
21-0532
masumasuiga@gmail.com

田中さとる
24-6661
maruichi101@gmail.com
ももい弘子
47-0234
mhhy26@gmail.com

連絡先

濱瀨達雄